



院内広報誌

SUMMER

か・け・は・し

こころの虹

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKORO no KAKEHASHI

♥ホームページ URL <http://www.oikawahp.net>♥Eメール address info@oikawahp.net

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

及川病院

〒810-0014

福岡市中央区平尾2丁目21-16

TEL 092-522-5411

No. 45 2020年08月 発行

院長

挨拶

及川 達司

Tatsuji Oikawa

医療法人にゅうわ会
及川病院 院長

患者様の権利と義務

患者様には「ご自身が生命の主人公」として、医療従事者とのよりよい人間関係を築いていきますよう以下の「守られていること」「守っていただきたいこと」があります。

人 格 権

患者様は個人としての人格、価値観などを尊重されます。

受 療 権

いつでも必要かつ十分な医療サービスを受けるために、医療機関を選択する権利があります。

知 る 権 利

病名、病状、診療計画、検査・手術、薬、必要な費用などについて、納得できるまで説明を受ける権利があります。

同時に、私たちに既往歴、現病歴、現在の治療内容、アレルギー歴など健康に関する情報を正確にお伝えください。

自 己 決 定 権

十分な説明を受け、理解した上で、提案された診療計画などを自らの意志で決める権利があります。

同時に、それらの内容に関する指示を守る義務があります。納得できない場合は、他の医師や医療機関の意見を求めることができます。

プ ラ イ バ シ ー に 関 す る 権 利

個人の秘密や医療に関する個人情報を守られ、私的なことにみだりに干渉されない権利があります。

参 加 す る 権 利

診療内容や病院の運営につき苦情や意見を述べ、医療改善の活動に参加する権利があります。安全性を高めるためお名前確認などにご協力ください。

毎日毎日トップニュースは新型コロナのことばかり。勿論今一番大切な問題であることは確かですが、この難局をみんなで乗り切るためには、少しは違った明るい話題も流してほしいものです。医療機関で働く私たちは、人と接触することが前提であるため常に感染の危険と隣り合わせです。そのような中で自分たちを守ると同時に、ご入院中の患者様、外来にみえる患者様の安全を考えなければなりません。ガイドラインに沿った感染防止対策をとり、細心の注意を払って診療を行っております。スタッフ個人のプライベートにつきましても、立ち入り禁止場所の指定や複数人と会うことさえも規制をかけています。私人の生活としてはかなり窮屈を強いていますが、みんな一所懸命対応してくれています。面会制限をはじめ皆様方にもご迷惑をおかけしておりますが、私たちと一緒にこの状況に打ち勝つために、何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。子どもたちから夏休みを奪い、子や孫を待つ帰省も許さない現状に胸が痛みますが、明けない夜はないと信じて毎日を工夫して私たちなりに充実したものにしていましましょう。

新しく着任した看護師のご紹介



江崎 章子

S y o u k o E z a k i

看護部長 認定看護管理者

令和2年4月1日より看護部長として着任いたしました。3月まで国立病院機構で任務についておりましたが、ご縁があって及川病院でまた看護管理に携わることになりました。私にとって人生の大きな転換期ともいえるこの春は、新型コロナ禍で感傷に浸る暇もありませんでしたが、お陰で前施設での感染対策の経験を着任直後から活かすことができました。どの施設も今まで経験したことのない状況に、危機感をもって対応していらっしゃることと思います。このような時だからこそ、職員が一丸となって病院や患者さんを守り抜けるよう全力で取り組んでいきたいと思っています。この広報誌の写真は地域連携の池邊室長に、3階の乳腺外科病棟の中庭で撮っていただきました。4階の緩和ケア病棟にも広いベランダ庭園があり、患者さんがくつろげる環境が整っています。また、当院にはがん化学療法看護認定看護師1名、緩和ケア認定看護師2名、リンパドレナージセラピスト2名が在籍し、スタッフは患者さん・ご家族の皆さんに寄り添う看護を目指しております。スタッフ一人ひとりが持っている能力を最大限発揮できるよう、人材育成にもしっかりと取り組んでいきたいと思っています。当院は多くの患者さんががんと診断され、不安な闘病生活を送りながら家族との時間を大切に過ごされています。院内での支援はもちろんですが、社会的な問題や仕事と治療の両立の問題、がんサバイバーのつながりなど、地域包括ケアシステムの中で患者さんやご家族の皆さんにトータルケアを提供していくために、さらに幅広い連携を進めていきたいと思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



池邊 紀美代

K i m i y o I k e b e

医療連携相談室長

令和元年11月より医療連携相談室に就任しました池邊紀美代と申します。

私はこれまで、大学病院、民間病院で30数年間看護師として従事してまいりました。看護の仕事を通し、多くの患者様やご家族、職員の方との出会いとご縁を大切に重ねてまいりました。

医療連携相談室は、地域の医療機関の先生方や関係機関の方々と当院をスムーズに連携できるように結ぶ窓口です。現在は看護師1名、事務1名の体制で構成されています。

「病・病連携」「病・診連携」の推進を図り、患者様の要望・病態に応じた切れ目のない最良の医療を提供するために、「前方連携」「後方連携」を充実するように努めています。

患者様、ご家族に対する医療福祉相談業務を行うとともに、他の医療機関からの入院受け入れ、診療・面談などの受付相談に応じています。

「顔の見える連携室」をモットーとして、人と人との結びつき、心と心のふれあいを大切に医療機関の方々をはじめご家族、そして何より患者様に安心して医療を受けて頂ける様、努めて参ります。

お一人 お一人 皆さまとのめぐり逢いを愛しみ「その人らしく 生きる」を常に問いかけ温かい連携室を目指していきたいと思っています。宜しくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症に対する当院の取り組み

当院では感染症予防に関して以下のような取り組みをしています。患者様やご家族様にはご迷惑をお掛け致しておりますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

1. 病院入り口は正面の1か所に限定。（西口から入ることはできません。）
2. 正面玄関受付でのサーモカメラによる体温測定。
熱発者と判断された場合は体温計にて再検し、37.5℃以上の場合は通常の待合室ではなく別室でお待ちいただいています。
3. 受付カウンターのアクリル板設置。
4. 開窓（外来では常に窓を開けています。）
5. アルコールによる定期的な清掃（患者様の手が頻回に触れると思われる箇所は1日に数回清掃しています。）
6. 面会制限
一般病棟では患者様1名に対して「30分。2名まで。入室は1名ずつ。」です。
緩和ケア病棟は患者様1名に対して「1時間。3名まで。複数人の同時入室可。」です。
面会には申請が必要で許可証をお渡ししています。
7. 職員のマスク着用と健康チェック（出勤前・就業前に検温。その他の症状についてもチェックしています。感染症が発生した場合に備えてチェック表は各自保管しています。）



令和元年 統計

○令和元年 手術件数
全身麻酔・・・343件
局部麻酔・・・31件
センチネルリンパ節生検・・・222件
乳腺腫瘍摘出手術（直径5cm未満）・・・47件
乳腺腫瘍摘出手術（直径5cm以上）・・・7件
B p・・・23件
B t・・・4件
B p+S L N B x・・・122件
B t+S L N B x・・・58件
B p+A x・・・9件
B t+A x・・・21件
リンパ節群郭清術・・・1件
乳管腺葉区域切除術・・・5件
胸壁悪性腫瘍摘出術・・・3件
ポート造設・抜去・・・30件

○外来患者数
76.9人／日

○入院患者数
22.3人／日

○手術件数
全体343件＜悪性腫瘍手術（原発）273件＞

○平均在院日数
・乳腺一般病棟
平均在院日数（過去1年）：5.8日
・緩和ケア病棟
平均在院日数（過去1年）30.7日



遺伝性乳がんについて その3



医療法人にゅうわ会 及川病院 乳腺外科

及川 将弘

Masahiro Oikawa

乳がん学会専門医・臨床遺伝専門医・遺伝性腫瘍専門医

前回の稿ではBRCA1遺伝子またはBRCA2遺伝子に生まれつき変異をもつ人がかかる遺伝性乳がん・卵巣がん症候群（Hereditary Breast and Ovarian Cancer Syndrome: HBOC）でおこる乳がんの特徴についてお話ししました。その様な特徴を持つ乳がん患者さんについては遺伝性のものを疑い、検査を検討します。今回はHBOCで行われる検査についてのお話です。

HBOCが疑われる場合、原因となるBRCA1遺伝子またはBRCA2遺伝子に変化があるかどうかを調べる検査を行い、遺伝子に変化が見つかった場合には、その変化ががんの発症と関連しているのかどうかを判定します。この様な検査のことを遺伝学的検査と呼びます。実際に患者さんが受けるのは、日常診療で行われているような採血のみです。血液の中にあるリンパ球からDNAを抽出し、次世代シーケンサーという機械でBRCA1遺伝子またはBRCA2遺伝子の塩基配列を読み取り、配列に変化がないかを調べます。持って生まれた遺伝情報なので、体のどの細胞にも同じ情報が含まれています。よって、リンパ球からのDNAでも変化がないかを確かめることが出来るのです。

HBOCの遺伝学的検査には二種類あり、「発端者検査」と「血縁者検査」と名前が付けられています。発端者検査の対象となる方は、原則的に乳がんや卵巣がんなどを発症した方になります。血縁者検査の対象になる方は、文字通りHBOCの遺伝学的検査でHBOCと診断された方の血縁者（血のつながった家族）となります。発端者検査ではBRCA1遺伝子、BRCA2遺伝子の頭からお尻まで一文字ずつ配列を読んでいきます。これらは遺伝子の中でも大きなものであり、かなり骨の折れる作業です。時間もかかりますし、検査の費用も高額となります（約20万円）。もし、発端者検査でBRCA1遺伝子またはBRCA2遺伝子のどこかに発がんの原因となる変化（病的変異と言います）が見つかった場合は、HBOCと確定されます。その場合、姉妹やお子さんなどの血縁者は、同じ変異を受け継いでいるかどうかを調べるための血縁者検査を受けることが出来ます。血縁者検査では、発端者検査で変異のある場所があらかじめ分かっているため、頭から読み直す必要がありません。そのため、かかる時間も短く、検査費用も安価となります（約3万円）。

HBOCの遺伝学的検査の話は、次回も続きます。

医療法人にゅうわ会

及川病院 乳腺外科
緩和ケア内科

福岡市中央区平尾2-21-16 〒810-0014

Tel092-522-5411 Fax092-522-6244

<診療時間>

平日9:00~18:00

土曜日9:00~17:00

<休診日>

日曜・祝日



及川病院

六本松乳腺クリニック

福岡市中央区六本松4-2-2

[六本松421] 2Fクリニックゾーン 〒810-0044

Tel092-406-8172 Fax092-406-8182

<診療時間>

9:00~17:00

<休診日>

木曜・日曜・祝日

